

学校だより 浅海



2022
12

松山市立浅海小学校
2022. 12. 1

できること、すべきこと…… 校長 秋山 徹也

早くも師走です。毎日元気な子どもたちと過ごしていると、より速く時が流れていく感じがしております。

先日の獅子舞・音楽発表会では大変お世話になりました。改めて子どもたちの一生懸命さとその頑張りに、感動と感謝の気持ちを覚えました。これも日頃からの保護者や地域の皆様方のお支えのおかげです。ありがとうございます。

さて、現在、FIFA ワールドカップカタール 2022 が開催されておりますが、ご覧になっていきますか。オリンピックはじめ、世界を相手にする競技がある際には、その結果はもちろん、出場選手にまつわるエピソード等が、マスメディアやインターネット等によって、私たちの目に、心に留まることが多くあります。そして、そのような情報によって、その競技に関する興味や関心が喚起されたり、出場選手に一層の親近感を覚えたりするなど、より楽しく充実した観戦につながることは、大いにあるかと存じます。

ところが、選手や監督に対するバッシング、場合によってはそのご家族などに対しても向けられる、いわゆる「負の情報」が発信されることも少なからずあります。それらの情報が、どのような方によって、どのような意図をもって発せられるかはよく分からないところですし、それらを受け取る側も、様々な価値観によって受け取り方が違ってくるとは思います。

学校教育の中では、日々子どもたちの人権を最大限尊重し、できる限りの支援を行っておりますので、「学校生活」と「社会生活」にギャップを感じ、上述のような現実に戸惑うことがあります。「芸能人やスポーツ選手と、私たちとは違う」と思いたいところですが、他者に対する厳しさは、露出の度合いにはあまり関係がないように思うこともあります。

スマートフォンやパソコンなどの普及により、誰もが様々な情報を発信できますし、誰もがある種の危険にさらされています。実際に他者からの誹謗・中傷により命を落とした人があったことも記憶に新しいところです。情報の発信等については、ICT機器の使用の有無にかかわらず、また、日頃の言動も含めて、一人一人が気を付けていかなければなりません。多様性を認めることは大切ですが、決して人を傷つけてもよいということではありません。

「それって、やろうと思えばできることだけど、本当にすべきこと？ してもいいこと？ 自分がされてうれしいこと？」と、いつも心に留めておきたいと思っています。

今年も大変お世話になりました。今後も浅海っ子のよさを一層伸ばせるように努めてまいります。皆様、よいお年をお迎えください。





伝統を受け継ぎつないていく ～獅子舞・音楽発表会～

浅海小学校は、SDGs アライアンス校に認定され、SDGs コンダクターからSDGs について学び、獅子舞の練習に取り組んできました。11月12日に行われた参観日には、学んだSDGs について発表し、獅子舞を披露しました。3年生にとっては初披露の場で、6年生にとっては最後の演舞。とても立派な発表となりました。

次に、松山市小学校連合音楽会に向けて練習してきた合唱「おーい海」、合奏「コンドルは飛んでいく」を披露しました。



初めての会場で～松山市小学校連合音楽会～



11月17日に第63回松山市小学校連合音楽会が3年ぶりに行われました。浅海っ子たちは、初の会場である松山市民会館で、合唱「おーい海」合奏「コンドルは飛んでいく」を発表しました。時間もあまりない中、毎日集中して練習に取り組み、当日は、すばらしい歌声と演奏を披露することができました。演奏後は指揮者が指揮台から降りる前から、拍手喝采で会場が湧きました。全校31名の一生懸命な気持ちや一体感が観客に届いたのだと思います。

